

事務事業評価表

平成13年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8218
担当部課名	財務部	管財	課	庁舎管理 係
事務事業名	本庁舎維持補修費		事業コード	

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	~63 年度
施策名	第 施策	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
市役所本庁舎の建物・設備の機能を維持していくために、損傷・故障等が起こった場合に補修等の対応を行う。		市役所本庁舎	
		対象数	1
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
第1別館空調機修繕 16,170千円 本庁舎案内サイン修繕 2,667千円 第1別館非常用蓄電池取替修繕 300千円 他 67件 合計 70件 58,389,219円		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度
		なし	

指標名	予算執行指標		
指標式	$\text{予算執行指標(\%)} = \frac{\text{予算額}}{\text{決算額}} \times 100$		
指標設定の意図	庁舎の機能保持のために、いかに事前に予測された経費を工夫して抑制したのかという努力を図る指標になる。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	142.25	107.81	a 109.01	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	15,761	20,112	58,390	63,650	28,536
	人員・時間数			正規職員1名/年	正規職員1名/年	正規職員1名/年
	人件費	8,420	8,420	8,420	8,420	8,420
	その他経費					
	合計	24,181	28,532	66,810	72,070	36,956
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 109.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{109.0}{100.0} \times 100 = 109.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
		$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$

理由：

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由：	第1別館等建設後20年以上が経過している建物等の設備の老朽化が激しく、修繕が必要となることが多い。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由：	必要のない修繕は行われていないため、妥当である。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由：	市の財産の維持補修であり、修繕の範囲や時期等の判断も必要となり、単に故障箇所の修繕を行えばよいといった内容ではないため代替の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由：	計画的かつ迅速な修繕を行い、なるべく来庁される市民の方々にご迷惑をおかけせずに気持ちよくお過ごしいただきたく努力しているが、故障が発生してから修繕対応せざるを得ないものもあるため。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由：	市役所の機能を保持するために当該事業は必要不可欠であるため。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明：</p> 市民満足度をはじめとして、経済性や効率性等の向上を今後とも努力をしていく必要性がある。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明：</p> 今後とも必要・不必要な修繕の見極めや修繕方法の工夫により費用対効果の向上をはかる必要がある。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	他の自治体においても同様の事業は存在するが、それぞれの施設の事情によりその内容は個々に相違があるものと思われる。
今後の進め方		説明	施設があるからにはその維持補修は必要不可欠であり、したがって事業の廃止は考えられない。各個別の評価も比較的高評価ではあるが、それに満足することなく、今後とも必要・不必要な修繕の見極めや修繕方法の工夫に努めて費用対効果の向上をはかる必要があると思われる。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点